

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

2015年度総会、第11回（通算第23回）大会開く

特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会

大会の開催数「通算第23回」は1993年に協議会を結成して大会を開催するようになってからの回数。

「第11回」は2005年に特定非営利活動法人となってからの回数です。

毎年6月に各地の聴覚障害者情報提供施設が主管となって開催する総会、大会は山口県聴覚障害者情報センターが主管を担当し、6月3日（水）～4日（木）山口県の湯田温泉「西の雅 常磐」にて開催されました。



今年の4月に愛知県で、5月に京都府で開所され、50施設となりました。このうち49施設から出席があり、賛助会員、一般参加、スタッフ等を含め約120名の参加でした。

2014年度の活動報告からは、「広域災害時の聴覚障害者への情報ネットワーク構築と支援のあり方研究事業」を行ったこと、著作権法の運用における報償金についての進展があったこと、難聴者へのコミュニケーション支援等について研修したこと等が報告されました。

2015年度は、「難聴者・中途失聴者の地域生活向上のための支援のあり方に関する研究事業」を行うこと、著作権法の運用について引き続き取り組むこと、施設の未設置地域は4道県となっているが、2016年度に秋田県と広島県が開所予定、鳥取県は独自事業実施、検討中が北海道とのことで、引き続き施設の運営充実へ要望交渉や支援に取り組むこととしています。

また、役員改選があり、2015年6月～2017年度6月の2年間の任期として、第一ブロック（北海道、東北、北信越）長の小中が、施設協議会の理事長職を担うことになりました。

第一ブロックは4日のブロック協議と、大会後の研修会で、映像ライブラリー事業、災害対策、施設運営の現状と課題の三点について意見交換するとともに、難聴者支援について研修を行いました。

すべての都道府県に聴覚障害者情報提供施設が設置される日も近づいています。聴覚障害者の社会参加を支援する地域の核となるセンターとしての役割と運営が求められていることを痛感します。全国の50施設で働く仲間とともに頑張りたいと思います。



センター利用の実績 5月21日～6月20日

- 来所者 合計約569名
聴障者約257名、健聴者約312名
- 意思疎通支援コーディネート77件
- ライブラリー貸出 4件9本
- 相談対応10件 ●部屋貸出43件

★センター運営募金を
お寄せ下さい★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会

※今年度から、センターは、月曜日を完全閉館としています。よろしくお願ひします。